

## 災害の危険性の高い地域における緊急津波・高潮対策の推進

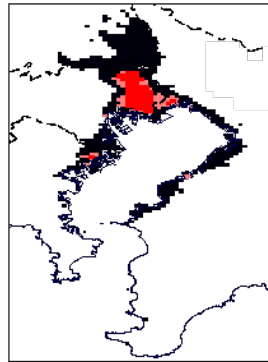
### ■ゼロメートル地帯(※1)における緊急高潮対策

平成17年8月末の米国でのハリケーン・カトリーナによる災害を教訓とし、人口・資産が集積し、地球温暖化により災害リスクの更なる増大が懸念させる三大湾等のゼロメートル地帯における高潮対策を推進する。

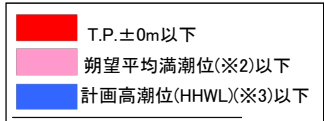


台風による高潮災害を未然に防ぐ東京港高浜水門閉鎖時の様子

東京湾  
面積: 116km<sup>2</sup> 人口: 176万人



- \* 河川・湖沼等の水面の面積については含まない
- \* 国土数値情報をもとに作成3次メッシュ(1km×1km)の標準情報が潮位を下回るものを図示面積、人口集計は3次メッシュデータにより行っている



### ■高潮被害等の再度災害防止のための緊急対策

深刻な高潮災害を経験した海岸や激しい冬期風浪等により深刻な侵食被害を受けている海岸等において、緊急的な再度災害防止対策を推進する。

#### 横須賀港海岸馬堀地区の高潮対策事例



整備前



【台風による越波状況】

平成7年台風12号 横須賀港海岸馬堀地区  
(写真: 神奈川新聞社提供)



整備後



高潮対策の護岸整備により、再度災害を防ぐ  
(平成18年10月低気圧による波浪)

#### ●用語の説明

- ※1 ゼロメートル地帯: 一般的には平均潮位と同じ、もしくはさらに低い標高の地域を指す。
- ※2 朔望平均満潮位(さくぼうへいきんまんちょうい): 朔、望の日(陰暦の1日、15日)から5日以内に現れる各月の最高満潮面を平均した潮位

- ※3 計画高潮位: 想定される最大規模の台風の到来等により、高潮が発生した時の海面の上昇と満潮位を足したもので、高潮対策施設の計画の基準とするもの